

地域住民の心身の主観的健康状態に関する疫学研究
— 2015 年藤里町における住民健康調査データの二次解析 —

1. 研究の対象

2015 年 3 月～4 月にかけて秋田県藤里町で実施された「こころとからだの健康に関するアンケート調査」に回答された方

2. 研究目的・方法

本研究は、秋田大学と自治体が共同で実施した既存の調査により収集されたデータを二次利用し、地域住民の健康状態や生活習慣等との関連を明らかにすることを目的としています。本研究により得られた知見は、今後の地域保健施策の検討や健康支援の充実に役立てられることが期待されます。

本研究では、過去に自治体において収集された既存のデータを用います。新たに調査や介入を行うことはありません。

研究の方法は以下のとおりです。

① 対象

2015 年に秋田県藤里町で実施された住民健康調査の回答データを対象とします。

② 解析項目

年齢や性別などの基本的な情報に加え、生活習慣（食事、睡眠、運動など）や、自殺に対する気持ちの持ち方、人とのつながりに関する質問項目を幅広く取り上げます。利用する情報の詳細は「3. 研究に用いる試料・情報の種類」の通りです。

③ 解析方法

それぞれの回答内容について、違いや傾向を比べながら、どのような組み合わせが健康状態と関係しているのかを検討します。それにより、「自分の健康状態をどう感じているか」「気分の落ち込みの有無」「生きることがつらいと感じた経験の有無」などについて、どのような生活や環境が関係しているのかを明らかにします。

研究実施期間：研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 3 月 24 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

【利用する情報】

①基本属性に関する項目：

地区、性別、年代、世帯構成

②健康行動・意識に関する項目：

食事、運動、喫煙、飲酒、睡眠、歯科検診、特定健康診査、がん検診、社会活動（地域活動への参加等）

③自殺予防に関する項目：

自殺・自殺予防に対する意識、希死念慮（死にたいと思う気持ち）、自殺・自殺未遂の実態

④心理的健康・心理社会的要因に関する項目：

抑うつ傾向の指標、精神的な回復力の指標、ストレス対処の方法、地域のつながりの指標

※氏名、住所、電話番号等の個人を直接特定できる情報は使用しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご意見・ご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、本研究では、すでに氏名や住所などの個人情報を含まないデータを使用しています。そのため、研究への参加を希望されない場合でも、該当の方のデータだけを見分けて研究から取り除くことはできません。ただし、本研究についてのご意見やご質問がある場合には、いつでも研究責任者にご連絡いただくことができます。研究の内容や目的、個人情報の取扱いについては、責任をもって分かりやすくご説明いたします。またご希望があれば、支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

担当者：富永 健一郎(秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座、助教)

住所：〒010-8543 秋田市本道1丁目1-1

秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座

電話：018-884-6474（内線 6474）

研究責任者：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 野村 恭子

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀨 友則